

多木のガッタン と 兵庫のローカル線



▶期間 10月3日(土)～12月6日(日)

▶時間 9:30～17:00

※月曜日休館(祝日は開館し翌火曜日に休館)。

▶場所 郷土資料館 展示室

※入館無料。

▶問合せ 郷土資料館 ☎079(435)5000

記念講演会

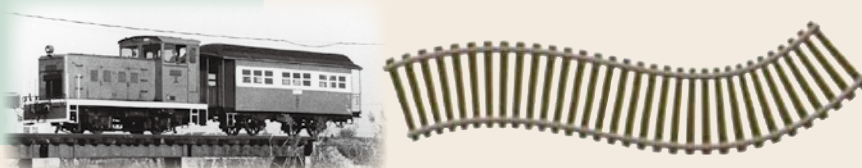
兵庫県の廃止線とローカル線よもやま話

▶日時 10月12日(祝) 13:30～15:00

▶場所 兵庫県立考古博物館講堂

▶講師 田中正恭(紀行作家)

▶定員 先着150人(当日受付)



特別展関係イベント いずれも無料

紙芝居「きかんしゃベッシー」上演

ボランティアグループ「ひょうご考古倶楽部」による紙芝居上演後、展示解説を行います。

▶日時 10月11日(日)、25日(日)、11月15日(日)、29日(日) 14:00～

▶場所 郷土資料館屋外展示の別府鉄道客車内



▲ハフ5号の車内(郷土資料館屋外展示車両)

元車掌さんの別府鉄道の話

元車掌さんから懐かしい別府鉄道の話をうかがえます。

▶日時 10月4日(日)、11月21日(土) 13:30～

▶講師 溝淵弘作(元別府鉄道 車掌)

ペーパークラフト 作成

資料館に保存されているDC302とハフ5の45分の1のペーパークラフトを作ります。

▶日時 10月10日(土)、24日(土)、11月14日(土)、28日(土) 13:00～15:00

▶定員 25人(事前申込み必要)



山陽電車 別府鉄道廃線ウォーク

▶日時 11月11日(水) 10:00～

▶集合場所 今福厄除八幡宮(山陽電車尾上の松駅北東200m)

—懐かしの別府鉄道—

播磨町郷土資料館とJR土山駅を結ぶ「であいの道」は、1984年に廃止された別府鉄道の線路跡地です。別府鉄道は、加古川市別府町にある多木製肥所(現多木化学)が製品を全国へ輸送するために敷設された鉄道で、野口線と土山線の2路線がありました。

「であいの道」は土山線の跡地で、大中遺跡周辺は土地がやや高くなっていたことから機関車があえぎガタンガッタンと音がしたことから、地元では「多木のガッタン」と呼ばれ親しまれていました。

1923(大正12)年に開通し1984(昭和59)

年に廃線となるまで62年間活躍しました。廃線から30年が過ぎ、別府鉄道を懐かしみ、併せて播州鉄道などの兵庫のローカル線を集めました。



I. 鉄道の成立と変遷



5号機の機まわり風景 別府港

近代文明開化の1つとして鉄道敷設があげられます。1870(明治3)年に着工され、兵庫県では1874(明治7)年に大阪―神戸間が開通し、1888(明治21)年に姫路まで延び土山駅も設けられました。

II. 別府鉄道のおゆみ



6号機が牽引する記念列車 S L最後の日

1915(大正4)年別府軽便鉄道(株)が創立し、鉄道計画が進められました。野口線が1921(大正10)年に開通し、1984(昭和59)年廃線まで走り続け地元で愛されていました。

III. 別府鉄道の車両



高砂線キハ646と別府キハ2の連絡運輸

蒸気機関車・ディーゼル機関車・気動車・客車・貨車が30両以上在籍していました。そのうち3両が近隣に、2両が県外に保存されています。

IV. 兵庫のローカル線



別府口の踏切を走るキハ101

兵庫県には別府鉄道以外に播州鉄道・播電鉄道・赤穂鉄道・出石鉄道・淡路鉄道などが敷設されていました。